



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月10日

上場会社名 株式会社 ニューテック 上場取引所 東
 コード番号 6734 URL http://www.newtech.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳瀬 博文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理部長 (氏名) 宮崎 有美子 TEL 03-5777-0888
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	1,777	—	116	—	114	—	74	—
29年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 75百万円 (—%) 29年2月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	39.09	—
29年2月期第3四半期	—	—

(注) 平成30年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年2月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第3四半期	2,471	1,250	50.6	652.51
29年2月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 1,250百万円 29年2月期 —百万円

(注) 平成30年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年2月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,764	—	168	—	160	—	109	—	56.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成30年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期3Q	2,081,000株	29年2月期	2,081,000株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	164,195株	29年2月期	164,195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期3Q	1,916,805株	29年2月期3Q	1,916,805株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、今年度に入り為替は、昨年来の円安と円高を繰り返し先行きは不透明で国内大手企業の業績は今後不安材料を抱えております。輸出企業を中心に堅調に推移してきた設備投資については、現時点では安定して推移しております。また、当第3四半期連結累計期間における国内IT関連企業の設備投資需要は現状大きな変化はなく、公共機関や学校関連の投資意欲も継続してはおりますが、大口案件での価格競争は激しくなっております。

このような環境の下、当社では主力製品の機能強化、ストレージ製品の高付加価値化に寄与するソリューション販売（サーバー、ストレージ及びソフトウェアを組み合わせ、システムとして納入する販売形態）の販売強化により、Cloudyシリーズの大容量（8TB）のNAS製品が大口案件等により増加し、プロミス・テクノロジー製のRAID（Vess）も順調に伸び、売上に寄与しました。また、小規模オフィス向け小型NASのOEM先への販売は大幅に伸び、ミラーカードも次期のモデルの開発を完了・製品化の上、ニュー・ミラーカードとして既に納品を開始しました。

この様な状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,777,596千円となりました。製品売上に関しては、OEM向けの製品（ミラー製品、小型NAS製品）の出荷は617,319千円とミラー製品の出荷は特に新製品（KITE）の機種に入れ替え時期にあたり計画を下回りましたが、小型NASの出荷は良好で全体をカバーしました。主力製品のRAID及びNASの販売は、研究機関、学校等への納入が順調でプロミス・テクノロジー製の製品群並びにCloudyシリーズの大容量のNAS製品が759,231千円の実績を上げました。その結果、ストレージ本体及び周辺機器を含む製品売上高は1,413,552千円でありました。また、商品売上は143,693千円、サービス売上は、株式会社ITストレージサービスの取扱った当社以外の製品の保守契約も加わり契約高では大幅に伸び、長期の契約が多かったものの、売上の計上は220,350千円となりました。

一方、この結果、損益面につきましては、販売管理費の削減効果（52,380千円）により営業利益116,754千円、経常利益114,156千円、親会社株主に帰属する四半期純利益74,923千円と計画比で大幅増益となりました。

品目別の売上高は、次のとおりであります。

品目別	当第3四半期連結累計期間	
	自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日	
	金額	前年同期比
	千円	%
ストレージ本体	1,345,956	—
周辺機器	67,595	—
製品小計	1,413,552	—
商品	143,693	—
サービス	220,350	—
合計	1,777,596	—

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,471,653千円となりました。

流動資産は、2,343,229千円となりました。主な内訳は、現預金の1,493,477千円、売上債権529,343千円、たな卸資産304,311千円等であります。

固定資産は、128,423千円となりました。主な内訳は、建物19,181千円、工具器具備品31,584千円、投資有価証券51,905千円、差入保証金23,325千円等であります。

流動負債は、970,945千円となりました。主な内訳は、仕入債務99,979千円、1年内返済予定の長期借入金276,887千円、前受収益485,910千円等であります。

固定負債は、249,981千円となりました。主な内訳は、長期借入金242,434千円等であります。

純資産は、1,250,725千円となりました。主な内訳は、資本金496,310千円、資本剰余金510,925千円、利益剰余金319,504千円等であります。自己資本比率は50.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年7月3日付の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,493,477
受取手形及び売掛金	529,343
商品及び製品	110,614
仕掛品	30,469
原材料	163,227
前払費用	4,715
繰延税金資産	8,393
その他	3,130
貸倒引当金	△141
流動資産合計	2,343,229
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	19,181
工具、器具及び備品(純額)	31,584
有形固定資産合計	50,766
無形固定資産	
その他	1,083
無形固定資産合計	1,083
投資その他の資産	
投資有価証券	51,905
差入保証金	23,325
長期前払費用	1,342
投資その他の資産合計	76,573
固定資産合計	128,423
資産合計	2,471,653
負債の部	
流動負債	
買掛金	99,979
1年内返済予定の長期借入金	276,887
未払金	16,872
未払法人税等	10,876
製品保証引当金	20,709
未払費用	31,729
前受収益	485,910
預り金	5,283
繰延税金負債	15,097
その他	7,600
流動負債合計	970,945
固定負債	
長期借入金	242,434
資産除去債務	6,325
繰延税金負債	1,222
固定負債合計	249,981
負債合計	1,220,927

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成29年11月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	496,310
資本剰余金	510,925
利益剰余金	319,504
自己株式	△78,265
株主資本合計	1,248,474
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	2,250
その他の包括利益累計額合計	2,250
純資産合計	1,250,725
負債純資産合計	2,471,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,777,596
売上原価	1,248,893
売上総利益	528,703
販売費及び一般管理費	411,948
営業利益	116,754
営業外収益	
受取配当金	1,168
為替差益	3,017
その他	451
営業外収益合計	4,637
営業外費用	
支払利息	5,620
売上債権売却損	1,615
営業外費用合計	7,235
経常利益	114,156
特別損失	
役員退職慰労金	4,000
特別損失合計	4,000
税金等調整前四半期純利益	110,156
法人税、住民税及び事業税	21,972
法人税等調整額	13,260
法人税等合計	35,232
四半期純利益	74,923
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,923

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	74,923
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	695
その他の包括利益合計	695
四半期包括利益	75,619
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	75,619

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

当社グループは、ストレージ(外部記憶装置)本体及び周辺機器の開発、製造、販売及び保守サービスを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。